

(2012.5.27)

栄養士の労働を経済学の視点から考える

—北海道栄養士会 研究教育栄養士協議会—

北海学園大学経済学部

佐藤 信

Sato Makoto

ks9570@hokkai.or.jp

「なお、食育がいつから使われてきたかについては、明治期からとよく指摘される。特に、村井弦斎や石塚左玄が食育を使用した嚆矢とされる。

しかし、兩人とも明治期の文人であり食養家である。石塚はのちの桜沢如一に影響を及ぼすなど近代栄養学批判にかれらの提唱の意義があった。

その人たちの使用した食育を現在の栄養学を学び「栄養士を」育てる人々が新たな動きとして取り上げるにはそれなりの総括が必要ではないだろうか。

↓

資料：『問われる食育と栄養士』31ページの注釈。

1. はじめに



河合知子・佐藤信・久保田のぞみ『問われる食育と栄養士 学校給食から考える』筑波書房、2006年



内藤重之・佐藤信編『学校給食における地産地消と食育効果』筑波書房、2010年

— 報告内容 —

1.はじめに

- (1)自己紹介と最近の問題関心／(2)報告の課題
- 2.経済学からみた「栄養士の労働」の特徴は何か
 - (1)資本主義経済の3つの歴史的特徴／(2)商品生産と「市場化」の特徴と傾向／(3)市場化された労働力商品の特徴と傾向／(4)本来の(資本制経済以外も含む)人間の労働／(5)資本制経済における「部分労働者化」の問題
- 3.栄養士の労働の起源
 - (1)栄養士業務の特異性／(2)創設期の栄養士業務／(3)病院における「栄養士」の起源／(4)「食養」と「栄養」／(5)栄養士はなぜ現在の業務に分かれたか？
- 4.栄養士の仕事はどこへ行くか
 - (1)今年度の管理栄養士国家試験問題から／(2)「給食経営管理論」が依拠している理論／(3)分業強化の下での栄養士業務の行く末
- 5.まとめ—栄養士の養成者に期待すること

2. 経済学からみた「栄養士の労働」の特徴は何か

(1) 資本主義経済の3つの歴史的 성격

- ①商品生産がもっとも発達していること。
- ②労働力までも商品となっていること。
- ③いくつかの階級が出現し、利潤(もうけ)を目的とした商品生産が行われること

*なお①～③は、様々な条件によって進展の仕方が異なる。

(2) 商品生産と「市場化」の特徴と傾向

- ①新たな商品市場が絶えず作られる。
→家庭内の加工や調理、空気・水、野菜なども商品化する。
- ②商品の市場は拡大し、グローバル化するとともに内包化する。→**食べ物の商品化は規格化、周年化、均一化されてゆく。**
- ③商品市場が飽和状態になると、マーケティング力や国家(政府)の力を使って強制的に作り出すこともある。→**強制的な商品化の進行がすすむ。**

(2) 商品生産と「市場化」の特徴と傾向

マーケティング理論を活用した社員食堂の利用率向上のための工夫である。誤っているのはどれか。(2011年試験問題 問173)

- (1) 割引クーポン券の発行
- (2) 食単価契約への切り替え
- (3) イベントメニューの導入
- (4) イン트라ネットでの献立表の配信
- (5) 混雑している食堂のレイアウトの見直し

資料:2011年第25回管理栄養士国家試験問題

(3) 市場化された労働力商品の特徴と傾向

- ①一定品質の労働力を、より低価格(低賃金)で調達しようとする。
- ②正規労働者よりも、より流動的な労働力(非正規、臨時等)を調達しようとする。
- ③労働者養成に関わる費用を外部化する傾向がある。→Off-JT(off the job training)
- ④必要に応じて性別役割分担を維持しようとする。

(3) 市場化された労働力商品の特徴と傾向

190 調理従事者の教育訓練の内容である。OJT(on-the-job training)として、正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 勤務終了後の新メニュー作成のための自主勉強会の開催
- (2) 保健所の主催する衛生管理講習会への参加
- (3) 厨房メーカー主催のモデル展示場における調理講習会での学習
- (4) 作業業務を伴う調理機器の取り扱い方法の習得
- (5) 休日を利用した有料の厨房機器展の見学

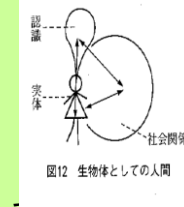
資料:2012年第26回管理栄養士国家試験問題

(4) 本来の(資本制経済以外も含む)人間の労働

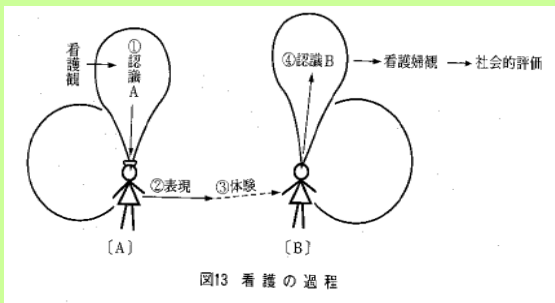
◇労働力とは、労働主体＝人間の諸能力(肉体的、精神的)の総体のこと。労働力の発揮(使用、消費)が労働である。

◇労働過程とは、

- ①労働主体が、
- ②直接あるいは労働手段を通して、
- ③労働対象に働きかける過程の総体を指す。



(4) 本来の(資本制経済以外も含む)人間の労働



資料:薄井坦子『科学的看護論(第3版)』日本看護協会出版部、131ページ(前スライドも同様)。

(5) 資本制経済における「部分労働者化」の問題

→社会的分業の進展と職場内分業による「部分労働者化」



映画チャップリン『モダンタイムス』による。

3. 栄養士の労働の起源

(1) 栄養士の労働の特異性

栄養士法 第一条 「2 この法律で管理栄養士とは、厚生労働大臣の免許を受けて、管理栄養士の名称を用いて

- ①傷病者に対する療養のため必要な栄養の指導、
 - ②個人の身体の状況、栄養状態等に応じた高度の専門的知識及び技術を要する健康の保持増進のための栄養の指導並びに
 - ③特定多数人に対して継続的に食事を供給する施設における利用者の身体の状況、栄養状態、利用の状況等に応じた特別の配慮を必要とする給食管理及びこれらの施設に対する栄養改善上必要な指導
 - ④等
- を行うことを業とする者をいう。」

3. 栄養士の労働の起源

(1) 栄養士業務の特異性

栄養士法

第五条の五 管理栄養士は、傷病者に対する療養のため必要な栄養の指導を行うに当たっては、主治の医師の指導を受けなければならない。

3. 栄養士の労働の起源

(1) 栄養士業務の特異性

保健師助産師看護師法

第五条 この法律において「看護師」とは、厚生労働大臣の免許を受けて、①傷病者若しくははじよく婦に対する療養上の世話又は②診療の補助を行うことを業とする者をいう。

3. 栄養士の労働の起源

(2) 創設期の栄養士業務



1939年3月1日『読売新聞』

3. 栄養士の労働の起源

(3) 病院における「栄養士」の起源

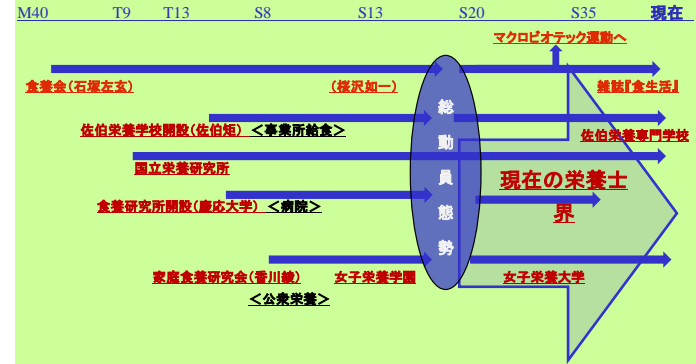


食養研究所調理室(戦前、同上)

資料:『慶應義塾大学医学部食養研究所発遷史』

3. 栄養士の労働の起源

(5) 栄養士はなぜ現在の業務に分かれたか



4. 栄養士の仕事はどこへ行くか

(1) 今年の管理栄養士国家試験問題について

(2) 「給食経営管理論」が依拠している理論

(3) 分業強化の下での栄養士業務の行く末

(2) 商品生産と「市場化」の特徴と傾向(2012年)

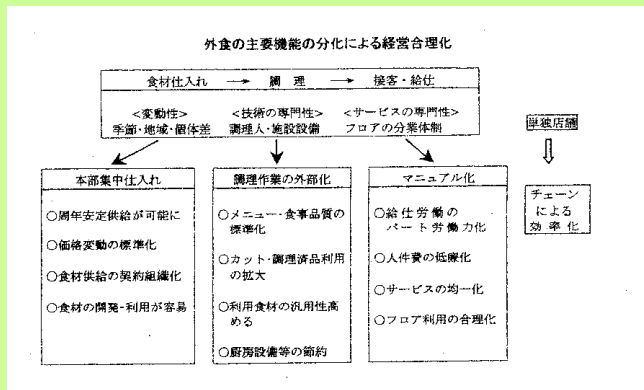
178 事業所給食におけるマーケティングとその具体的な取組の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) マーチャンダイジング —— イベントメニューの予告
- (2) マーケティングリサーチ —— 流行メニューの把握
- (3) プロモーション戦略 —— メニューの商品化計画
- (4) ポジショニング —— 標的とする客層の選定
- (5) セグメンテーション —— 利用者のクレーム情報分析

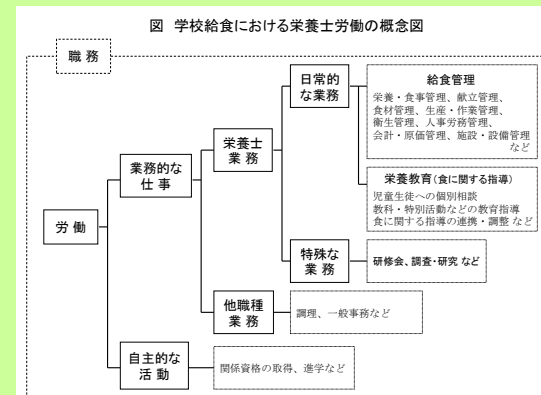
資料:2012年第26回管理栄養士国家試験問題

4. 栄養士の仕事はどこへ行くか

(3) 分業強化の下での栄養士業務の行く末



(3) 分業強化の下での栄養士業務の行く末



資料:久保田のぞみ「職後学校給食における栄養士労働の性格変化に関する研究」による。

5. まとめ—栄養士の養成者に期待すること

(1) 部分労働担当の栄養士から、労働の成果を自らのものとする、自己成長する栄養士へ

(2) 栄養士の専門性の発揮のために

おわり

ありがとうございました

問い合わせは↓へ
ks9570@hokkai.or.jp